

## ※ 今週のアウトルック(1/16~1/20)

先週は米国CPIの発表を受けて、ドル売りが進みました。  
ただ、ユーロドル、ポンドドルなどはレジスタンスに阻まれてそれほど大きな上昇とはなっていない為、円高との見方の方が強いかもしれません。

今週はまず、ドル安円高がもう一段進むのかどうか注目されますが、週末には短期米国債価格が再び上昇していることなどから、一旦は落ち着く可能性が強いかもしれません。

先週のドル円はCPIの発表を受けて、金曜日に127円台まで下落し、127円台のままNY市場を終了しました。

今週は130円付近のレジスタンスを完全に割り込んでしまったことから、125円付近まで下落する可能性が浮上しています。

ただ、サポートをブレイクした後、大きく急落とはなっておらず、下落ペースがいささか鈍化するあるいは一度リバウンドする可能性もあるように思います。

ドル円の予想レンジは125円から135円です。

先週のユーロ円は後半、米国CPI発表を受けて一気に下落し、138円台中盤で週末を迎えました。  
今週はもう少し下落する可能性は残るものの、すぐに137円付近のサポートを割り込んでしまう可能性は、いささか低いかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは137円から144円です。

ポンド円も先週後半下落し、156円付近で推移していますが、今週155円付近のサポートを割り込んでしまう可能性はいささか低いように思います。

ポンド円の予想レンジは155円から165円です。

今週は先週進んだ円高が、どのあたりで落ち着くのかを、まずは見極める必要がありそうです。

## \* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。